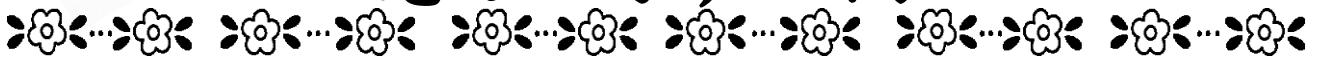


学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

三ツ境小だより 5月号



どの子にも居心地のよい学級・学年・学校づくりを目指して

校長 山本 美和

若葉の美しい季節となりました。学校では、ツツジが鮮やかな花を咲かせています。21日には、体育館で「1年生を迎える会」を行いました。1年生は、2年生から贈られたアサガオの種が入ったメダルをさげ、4年生の手作りアーチをくぐり、6年生と手をつないで入場しました。3年生は、各クラスに校歌の歌詞の掲示物をプレゼントし、5年生が学校の〇×クイズを行いました。1年生がお礼の言葉と「1年生になったら」を斉唱した時は、2～6年生の子どもたちが自然と笑顔になって手拍子をし、とてもあたたかい会になりました。

また先日は、2～6年生の授業参観、全校実施の学年・学級懇談会にお越しくださり、ありがとうございました。私からは、学年懇談会の中で学校経営方針をお伝えさせていただきました。来年度は学校説明会を開催し、より丁寧に学校教育活動全体についてお伝えしたいと思っております。

さて、入学あるいは進級してから一か月近くが経ちましたが、お子さんの様子はいかがでしょう。新しい環境への適応の速度は、人それぞれです。すぐに適応できる子、時間をかけて適応する子、あるいは、アメリカの心理学者のエレン・N・アーロン博士が提唱した、HSC (Highly Sensitive Child 感覚や人の気持ちに敏感で傷つきやすい子ども) 傾向の子は、適応することへのハードルをより高く感じていると思います。HSC傾向の子は「ちゃんとやりたい」気持ちが強く、「ちゃんとできないと駄目だ」と自分にプレッシャーをかけてしまう気質ゆえに、新しい環境の中で、より一層、失敗を必要以上に怖がり、新しい担任の注意の仕方になれずに、全体への指導を自分への指導と受け止めてしまったりすることが考えられます。

学校は、このように性格や気質、生まれや育ち、経験などすべて異なる子どもたちが、毎年、新しい学級集団を形成しています。その中で、教育活動を通じて子どもたちが支え合い、認め合い、高め合いながら居心地よく過ごし、力を発揮できる学級集団・学年集団、三ツ境小学校を作ることを教職員一同で目指していきます。引き続き、本校教育活動に対しご理解ご支援のほどよろしく願いいたします。